

株式会社登起波様が「SDGs宣言書」を策定されました！ ～「とうほうSDGsサポートサービス」による「SDGs宣言書」策定支援～

東邦銀行（頭取 佐藤 稔）は、お客さまのSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）に関する取組みを支援するため、「とうほうSDGsサポートサービス（以下、本サービスとします）」をご提供しております。

この度、本サービスの利用を通じ、株式会社登起波様が「SDGs宣言書」を策定されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本サービスは、対話を通してお客さまのSDGsへの取組状況の確認と、経営課題の見える化を行うことで、お客さまの課題解決に向けた具体的な取組みをサポートしております。

また、診断結果に基づく「SDGs宣言書」の作成により、お客さまの特色ある取組みを発信するとともに、社会全体でのSDGsの機運も高めております。

当行では、引続きお客さまのニーズに応じたサービスを提供し、お客さまの成長・発展、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

記

発行企業	株式会社登起波
代表者	代表取締役 尾崎 仁
所在地	山形県米沢市中央7丁目2-3
事業内容	米沢牛専門店（飲食及び精肉販売）
企業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●創業1894年（明治27年）。米沢牛専門の飲食店及び精肉店を営んでおります。 ●全国各地から個人客、また著名人も足を運ぶ米沢市随一の米沢牛取扱店です。 ●確かな品質と味にこだわり、「米沢に登起波あり」との評価を受け、現在5代目店主が変わらぬ美味しさを守り続けております。 ●店舗販売のほか、通信販売も行っており、これからも全国に米沢牛の魅力を届けてまいります。



宣言書を手にする尾崎社長（左）



東邦銀行グループでは、『とうほうSDGs宣言』を制定し、グループ全体で地域経済の活性化や社会的課題の解決に向けた取組みを通して“地域社会に貢献する会社へ”を目指しています。





SDGs宣言書

2024年3月25日

株式会社登記波

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた取組みを以下の通り宣言します。

カテゴリ	テーマ	具体的な取組み	SDGsゴール
人権・労働	ワークライフ バランス 安全衛生	多様な人材が活躍できる仕組みを構築し、従業員一人ひとりが働きやすい環境の実現に努めてまいります 【具体的な取組み】 ● 年次有給休暇取得や勤怠システム活用による長時間労働の抑制。 ● 管理職職員による従業員向け安全衛生管理に関する会社方針の周知。 ● HACCP規定に基づいた徹底した衛生管理の実施。 ● 外国人採用等、多様な人材の活躍・育成に向けた取組みを実施。	    
環境	廃棄物の削減 脱炭素・省エネ	廃棄物の削減や省エネへの取組みを通じて、循環型社会の推進に貢献いたします 【具体的な取組み】 ● 販売容器に自然素材の竹皮や経木を使用しプラスチック排出を削減。 ● 社内全体で日々の廃棄量を認識し、廃棄物削減に向け意識を向上。 ● 電気使用料やCO2排出量をデータ管理し社内全体で共有。 ● リサイクル製品の優先的な利用により環境配慮に努める。	    
内部管理 組織体制	情報セキュリティ リスクマネジメント DX推進	情報管理の徹底やDXへの取組みを通じ、内部管理体制の整備に努めてまいります 【具体的な取組み】 ● 通販事業におけるトップダウンでの個人情報管理徹底。 ● HACCP規定に基づき食品衛生事務の行動記録を徹底。 ● 予約状況のシステム管理により見える化を実施。	  
製品・サービス	品質・安全性の確保 環境配慮設計	食品の安心・安全を第一に、さらなる品質向上を目指してまいります 【具体的な取組み】 ● 商品品質の維持・向上のため、週1回のミーティングを実施し従業員意識向上に努める。 ● 廃棄量削減及びエコ包装資材の活用により、環境保全に寄り添った企業運営に努める。	   
社会貢献 地域貢献	地域経済の活性化 地域づくり	老舗米沢牛専門店として、地域活性化を通して米沢市を牽引する企業を目指してまいります ● 1894年(明治27年)創業。これからも地元人材の雇用創出と地元企業との関わりを大切にし地域一体での成長を目指す。 ● ふるさと納税事業への参加を通じ、米沢市の活性化に努める。 ● 学生向け工場見学を通して、食育の推進に努める。 ● 地域の防犯活動や美化活動に積極参加。	   

SDGsとは

「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の略称です。2015年9月、国連の「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で設定された、2030年を期限とする17のゴール(目標)と169のターゲットのことで、2030年までに、あらゆる貧困に終止符を打ち、不平等を是正し、気候変動に対処するなど「誰一人置き去りにしない」ための取組みを掲げています。